

2019年度 教科課程

作業療法士科

| 区分 | 開講科目名 (英語表記) | 選択 必修 | 授業 形態 | 時間 数 | (単 位 数) | 学年 | | | 講義概要 | |
|--------|-----------------|--|----------|---------|---------------|-----|----|----|------|--|
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | | |
| 基礎分野 | 科学的思考の基盤・人間と生活 | 心理学 Psychology | 必修 | 講義 | 30 | (2) | 30 | | | 知覚や認知、欲求や感情、学習や思考・記憶などにおける心理の過程を知り、人の内面を見る手がかりとすることができる。 |
| | | 文章表現・読解 Writing Expressions and Reading Skills | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 日々の授業や臨床実習で課題となるレポートの作成に必要な文章表現や文章読解力を身につける。 |
| | | 医学用語 Medical term | 必修 | 講義 | 30 | (2) | 30 | | | 基礎医学分野（主に解剖学、生理学、運動学）の専門用語について、その読み・書きおよび概念を理解できる。 |
| | | 自然科学 Physical Science | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 人体の運動および動作の原理である運動学を学ぶための基礎としての力学について理解できる。 |
| | | 統計学演習 Statistics ; Practice | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 研究法を学ぶための基礎である統計処理の基本的な知識を身につけ、その方法を理解できる。 |
| | | 健康科学 Physical Fitness | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 専門職として業務の遂行に必要な基礎的な体力を養うとともに、作業療法に必要な体育理論を身につける。 |
| | | 医学概論 Introduction to Medicine | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 医学の歴史や医療技術の進歩、生命倫理・医療倫理等について学び、医療従事者として相応しい心構えを身につける。 |
| | | 情報処理 Information Processing | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | レポートの作成等に必要となるPCの基本的なソフトであるワード、エクセル、パワーポイントについて理解できる。 |
| | | 基礎英語Ⅰ English I | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 日常英会話により英語を話す力、聞く力を中心とする基礎英語力を身につけ、英語でのコミュニケーションの基盤を形成できる。 |
| | | 基礎英語Ⅱ English II | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 医療の現場で想定される英会話の基礎知識と英語表現を学び、患者とコミュニケーションが取れるような英会話力を身につける。 |
| | | 人間関係論Ⅰ Interpersonal Relations I | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 社会人としてのマナーやコミュニケーションの基本を学び、幅広く円滑なコミュニケーションを図る能力を身につける。 |
| | | 人間関係論Ⅱ Interpersonal Relations II | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 臨床現場で必要になるさまざまな医療関連職種や患者との円滑なコミュニケーションを図る能力を身につける。 |
| 専門基礎分野 | 人体の構造と機能及び心身の発達 | 解剖生理学Ⅰ(運動系) Anatomy and Physiology I (Motor system) | 必修 | 講義 | 60 | (4) | 60 | | | 運動を学ぶための基礎となる骨・関節・筋肉の構造・機能について理解できる。 |
| | | 解剖生理学Ⅱ(神経系) Anatomy and Physiology II (Nervous System) | 必修 | 講義 | 30 | (2) | 30 | | | 神経系(中枢神経系、末梢神経系、感覚器系)の構造・機能について理解できる。 |
| | | 解剖生理学Ⅲ(内臓系) Anatomy and Physiology III (Visceral System) | 必修 | 講義 | 30 | (2) | 30 | | | 内臓系(循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、内分泌系、生殖器系)の構造・機能について理解できる。 |

2019年度 教科課程

作業療法士科

| 区分 | 開講科目名 (英語表記) | 選択 必修 | 授業 形態 | 時間 数 | (単 位 数) | 学年 | | | 講義概要 |
|--|---|----------|----------|---------|---------------|----|----|----|---|
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | |
| 専門基礎分野 人体の構造と機能及び心身の発達 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 | 解剖学実習 Anatomy ; Practice | 必修 | 実習 | 30 | (1) | 30 | | | 人体の構造、特に骨・関節・筋・神経の構造について、標本や模型を使用しての実習を通して理解できる。 |
| | 機能解剖学(運動学) Functional Anatomy (Kinematics) | 必修 | 講義 | 60 | (4) | 60 | | | 人体の運動および動作の原理を学び、それらを多面的に理解する。また、関節の構造による運動の特徴等を理解できる。 |
| | バイオメカニクス Biomechanics | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 運動を通して人の体の構造と機能を理解する。また、人の運動を力学的な観点から理解できる。 |
| | 運動学実習 Kinematics ; Practice | 必修 | 実習 | 60 | (2) | | 60 | | 人体の機能と運動との関係を学び、各運動に必要な生理的機能の特徴を実習を通して理解できる。 |
| | 老年期学 Gerontology | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 「老い」とは何か、老年期にみられる身体機能・精神機能の特徴、老年期に起こりやすい疾患等について理解できる。 |
| | 人間発達学 Human Development | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 人間が生涯にわたり発達する力を持っていることを学び、人間の生涯にわたる身体的、精神的、社会的な発達について理解できる。 |
| | 臨床心理学 Clinical Psychology | 必修 | 講義 | 30 | (2) | 30 | | | 臨床現場で使用される各種心理検査（知能検査、人格検査、神経心理学的検査）や心理療法について理解できる。 |
| | 病理学 Pathology | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 代表的な疾病の原因とそれに対する生態の反応、疾病の経過・転帰等について理解できる。 |
| | 一般臨床医学 Clinical Medicine | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 病院や施設でよく見られる内科疾患を中心とした疾患の原因、診断、症状等、疾患の概念について理解できる。 |
| | 精神医学 Psychiatry | 必修 | 講義 | 60 | (4) | | 60 | | 統合失調症・気分障害(躁うつ病)等を代表とする精神科疾患の原因、診断、治療等について理解できる。 |
| | 内科学 Internal Medicine | 必修 | 講義 | 30 | (2) | | 30 | | 代表的な内科系の疾患、特に作業療法の対象者に多くみられる疾患の原因、診断、治療等について理解できる。 |
| | 整形外科学 Orthopedic Surgery | 必修 | 講義 | 30 | (2) | | 30 | | 代表的な整形外科系の疾患、特に作業療法の対象者に多くみられる疾患の原因、診断、治療等について理解できる。 |
| | 神経内科学 Neurological Medicine | 必修 | 講義 | 30 | (2) | | 30 | | 代表的な神経内科系の疾患、特に作業療法の対象者に多くみられる疾患の原因、診断、治療等について理解できる。 |
| | 小児科学 Pediatrics | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 代表的な小児系の疾患、特に作業療法の対象者に多くみられる疾患の原因、診断、治療等について理解できる。 |
| | 画像診断学 Introduction to Computer Diagnosis | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 脳の疾患や整形外科疾患において必要となるCTやMRI画像の読影のため、画像診断の基本的知識を身につける。 |

2019年度 教科課程

作業療法士科

| 区分 | 開講科目名 (英語表記) | 選択 必修 | 授業 形態 | 時間 数 | (単 位 数) | 学年 | | | 講義概要 | |
|---------|---|--|----------|---------|---------------|-----|----|----|---|---|
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | | |
| 専門基礎分野 | リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | リハビリテーションの対象となる代表的な疾患や障害に対するリハビリテーション医学の基本的なアプローチの方法を理解できる。 | |
| | リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | リハビリテーションの歴史や、理念、概念、対象、関連職種等について理解できる。 | |
| | チーム医療論 Interprofessional Care | 必修 | 講義 | 15 | (1) | 15 | | | 医療機関におけるチームのあり方を学び、医療専門職としての自覚とチームの一員として相応しいあり方を身につける。 | |
| | 社会保障制度論(関連法規) Social Security System (Related Laws and Regulations) | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 社会保障制度の現状を学び、リハビリテーションに関連する法律や制度(医療、介護、福祉など)について理解できる。 | |
| 専門分野 | 基礎作業療法学 | 作業療法概論 Introduction to Occupational Therapy | 必修 | 講義 | 30 | (1) | 30 | | | 作業療法の起源と歴史、定義や対象・分野、職業倫理、作業療法実施の流れ等、作業療法の全体を理解できる。 |
| | | 基礎作業学 Analysis and Adaptation of Activities | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 作業療法の治療手段である作業の持つ意味や作業の捉え方に関する変遷を学び、作業活動と人との関わりや諸機能への影響等を理解できる。 |
| | | 基礎作業学実習 Analysis and Adaptation of Activities ; Practice | 必修 | 実習 | 60 | (2) | 60 | | | さまざまな作業活動を通して、その心身に及ぼす影響や治療的な効果・作業療法現場での使用方法について理解できる。 |
| | | 作業療法研究法 I Research Method of Occupational Therapy I | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 実践のための科学的基盤を確立する上で重要である研究について、その基本的な考え方や方法について理解できる。 |
| | | 作業療法研究法 II Research Method of Occupational Therapy II | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | | 15 | 作業療法研究法 I を基本として、作業療法における研究についての考え方や実際の研究について学び、理解できる。 |
| | 作業療法評価学 | 作業療法評価学 Occupational Therapy Assessment | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 作業療法における評価の基本的な考え方やその種類、手順、具体的な検査測定法について理解できる。 |
| | | 作業療法評価学実習 I Occupational Therapy Assessment ; Practice I | 必修 | 実習 | 30 | (1) | 30 | | | 作業療法における代表的な検査測定法を理解し、実際に経験することにより身につける。 |
| | | 作業療法評価学実習 II Occupational Therapy Assessment ; Practice II | 必修 | 実習 | 30 | (1) | 30 | | | 作業療法における代表的な検査測定法を理解し、実際に経験することにより身につける。 |
| | | 作業療法評価学実習 III Occupational Therapy Assessment ; Practice III | 必修 | 実習 | 30 | (1) | | 30 | | 作業療法における代表的な検査測定法を理解し、実際に経験することにより身につける。 |
| | | 作業療法評価学実習 IV Occupational Therapy Assessment ; Practice IV | 必修 | 実習 | 30 | (1) | | 30 | | 作業療法における代表的な疾患に対する一連の評価手順を実際に経験することにより身につける。 |
| 作業療法治療学 | 身体障害治療学 I Occupational Therapy for Physical Disabled I | 必修 | 講義 | 60 | (2) | | 60 | | 身体障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 | |

2019年度 教科課程

作業療法士科

| 区分 | 開講科目名 (英語表記) | 選択 必修 | 授業 形態 | 時間 数 | (単 位 数) | 学年 | | | 講義概要 | |
|--|-----------------|---|----------|---------|---------------|-----|----|--|------|---|
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | | |
| 専門分野 | 作業療法治療学 | | | | | | | | | |
| | | 身体障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Physical Disabled Ⅱ | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 身体障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 |
| | | 高次脳機能障害治療学 Occupational Therapy for Cognitive Dysfunction | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 代表的な高次脳機能障害に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 |
| | | 精神障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Mental Disabled I | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 精神障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 |
| | | 精神障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Mental Disabled II | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 精神障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 |
| | | 発達障害治療学 Occupational Therapy for Developmental Disability | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 発達障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 |
| | | 職業関連技術論 Pre-Vocational Occupational Therapy | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 障害を持つ人が職業につくにあたっての職業評価・援助の方法や職業支援に必要な知識を身につける。 |
| | | 老年期障害治療学 Occupational Therapy for Elderly Disorders | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 老年期における特徴等の知識を基礎として老年期に多い疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。 |
| | | 作業療法技術論演習 Occupational Therapy Skills ; Practice | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 義肢や装具の構造と機能および使用目的・方法、自助具の使用目的や作製方法について演習を通して身につける。 |
| | | 日常生活活動学演習 Activities of Daily Living ; Practice | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 日常生活活動の評価方法や指導方法等を学び、基礎的な知識や実技の方法について演習を通して身につける。 |
| | | 作業療法治療学演習Ⅰ Objective Structured Clinical Examination I | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 観察や面接の知識や技術を臨床現場を模した状況で実践し、実際の現場でも実施できる技術を身につける。 |
| | | 作業療法治療学演習Ⅱ Objective Structured Clinical Examination II | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 評価学実習で学んだ評価法を臨床現場を模した状況で実践し、実際の現場でも実施できる技術を身につける。 |
| | | 作業療法治療学演習Ⅲ Objective Structured Clinical Examination III | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 身体障害領域における作業療法の技術等を臨床現場を模した状況で実践し、実際の現場でも実施できる技術を身につける。 |
| | | 作業療法治療学演習Ⅳ Objective Structured Clinical Examination IV | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 精神障害領域における作業療法の技術等を臨床現場を模した状況で実践し、実際の現場でも実施できる技術を身につける。 |
| 作業療法治療学演習Ⅴ Objective Structured Clinical Examination V | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | | 30 | 老年期障害領域における作業療法の技術等を臨床現場を模した状況で実践し、実際の現場でも実施できる技術を身につける。 | | |
| 作業療法治療学実習Ⅰ Occupational Therapy Treatment Practical Training I | 必修 | 実習 | 30 | (1) | | | 30 | 3年次の臨床実習に必要な知識や技術を演習を通して実践し、実際の実習で実施できる技術を身につける。 | | |

2019年度 教科課程

作業療法士科

| 区分 | 開講科目名 (英語表記) | 選択 必修 | 授業 形態 | 時間 数 | (単 位 数) | 学年 | | | 講義概要 |
|------|-----------------|----------|----------|---------|---------------|-----|-----|-----|---|
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | |
| 専門分野 | 作業療法治療学 | 必修 | 実習 | 30 | (1) | | | 30 | 3年次の臨床実習に必要とされる知識や技術を演習を通して実践し、実際の実習で実施できる技術を身につける。 |
| | | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | | 30 | 実際の臨床現場で行われている作業療法を、現場で活躍する作業療法士の教授により、演習を通して理解できる。 |
| | | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | | 30 | 実際の臨床現場で行われている作業療法を、現場で活躍する作業療法士の教授により、演習を通して理解できる。 |
| | 地域作業療法学 | 必修 | 講義 | 30 | (1) | | 30 | | 地域作業療法の必要性と現状、その実際を学び、具体的な展開方法について理解できる。 |
| | | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 住宅改修や福祉用具、自助具の基礎知識、それぞれを用いた援助の方法等について理解できる。 |
| | | 必修 | 講義 | 15 | (1) | | 15 | | 介護保険制度の詳細について学び、介護保険におけるケアマネジメントの実際について理解できる。 |
| | | 必修 | 実習 | 30 | (1) | 30 | | | 地域の臨床現場での体験実習を通して、一般的に必要とされるコミュニケーション能力を身につける。 |
| | | 必修 | 実習 | 30 | (1) | | 30 | | 地域の臨床現場での体験実習を通して、作業療法士として必要とされるコミュニケーション能力を身につける。 |
| | | 必修 | 実習 | 180 | (4) | | 180 | | 作業療法における初期評価の一連の流れ（情報収集、検査測定の実施、評価のまとめ、作業療法計画の作成等）を臨床現場での実習を通して体験し、身につける。 |
| | 臨床実習 | 必修 | 実習 | 360 | (8) | | | 360 | 作業療法における初期評価から治療、最終評価までの一連の流れを臨床現場での実習を通して体験し、身につける。 |
| | | 必修 | 実習 | 360 | (8) | | | 360 | 作業療法における初期評価から治療、最終評価までの一連の流れを臨床現場での実習を通して体験し、身につける。 |
| | | 必修 | 実習 | 360 | (8) | | | 360 | 作業療法における初期評価から治療、最終評価までの一連の流れを臨床現場での実習を通して体験し、身につける。 |
| | 選択必修分野 | その他 | 必修 | 実習 | 45 | (1) | 45 | | |
| 必修 | | | 演習 | 15 | (1) | | 15 | | 海外の医療情勢、また日本とその相違を学び、国際的な視点や幅広い視野を身につける。 |
| 必修 | | | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 社会人としての基礎力を身につけ、作業療法士を目指す仲間との良好な関係を作る。また、作業療法士としての将来像を明確にできる。 |
| 必修 | | | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 医療人としての倫理観を身につける。また、作業療法士になるためのモチベーションを維持できる。 |

2019年度 教科課程

作業療法士科

| 区分 | 開講科目名 (英語表記) | 選択 必修 | 授業 形態 | 時間 数 | (単 位 数) | 学年 | | | 講義概要 | |
|---|-----------------|--|----------|---------|---------------|-----|----|---|------|--|
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | | |
| 選択 必修 分野 | その他 | | | | | | | | | |
| | | プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Seminar Ⅲ | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | | 30 | 作業療法士としての職業倫理を身につける。また、実習を経て作業療法士としての将来像をより明確化できる。 |
| | | 医療管理学演習 Clinical Management | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 作業療法においても重要となる情報管理について、実際の医療現場におけるその基礎的な事項を学び、理解できる。 |
| | | 臨床実習入門 Introduction to Clinical Training | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 2年次の臨床実習に必要な基礎医学・臨床医学の基礎知識や評価学、評価学実習で学んだ評価技術を演習を通して身につける。 |
| | | 作業療法総合演習Ⅰ Occupational Therapy Integrated Study I | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 1年で学ぶ基礎医学の知識について、問題演習、確認テスト等を通して総合的に身につける。 |
| | | 作業療法総合演習Ⅱ Occupational Therapy Integrated Study II | 必修 | 演習 | 30 | (1) | 30 | | | 作業療法における専門的な評価方法や治療方法を演習を通して総合的に身につける。 |
| | | 作業療法総合演習Ⅲ Occupational Therapy Integrated Study III | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 1・2年で学ぶ専門基礎分野の知識について、問題演習、確認テスト等を通して総合的に身につける。 |
| | | 作業療法総合演習Ⅳ Occupational Therapy Integrated Study IV | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | 30 | | 作業療法における専門的な評価方法や治療方法を演習を通して総合的に身につける。 |
| | | 作業療法総合演習Ⅴ Occupational Therapy Integrated Study V | 必修 | 演習 | 30 | (1) | | | 30 | 1～2年で学ぶ専門基礎分野の知識や作業療法の専門的な知識について、問題演習、確認テスト等を通して総合的に身につける。 |
| 作業療法総合演習Ⅵ Occupational Therapy Integrated Study VI | 必修 | 演習 | 90 | (3) | | | 90 | 1～3年で学ぶ専門基礎分野の知識を基礎とした作業療法の専門的な知識について、問題演習、確認テスト等を通して総合的に身につける。 | | |